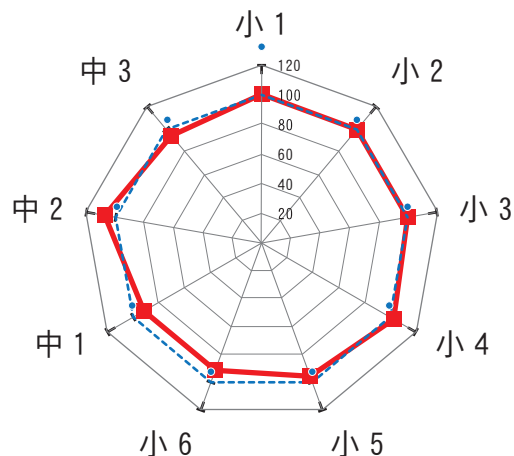


令和3年度 標準学力検査・総合質問紙調査結果

本町で毎年実施されている「標準学力検査（CRT検査）」および「総合質問紙調査（i-check）」の結果についてお知らせします。なお、本調査は町内小学校1年～中学校3年までの全児童生徒を対象に実施したものです。

1 標準学力検査(CRT検査)結果

---●--- 目標値 ■ 全教科平均

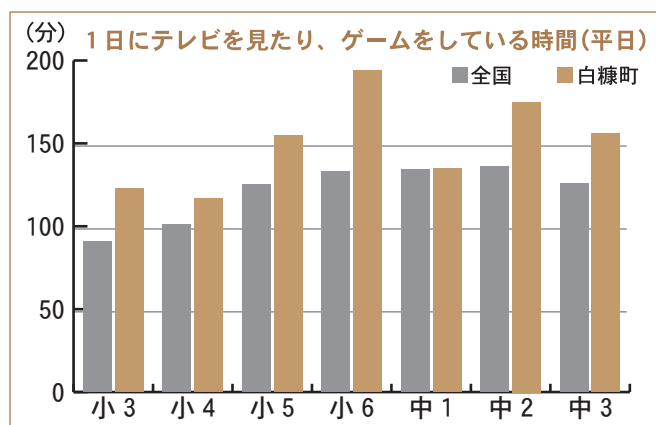
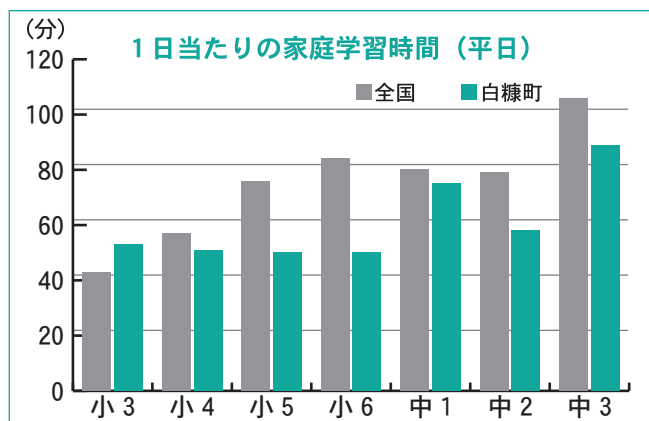
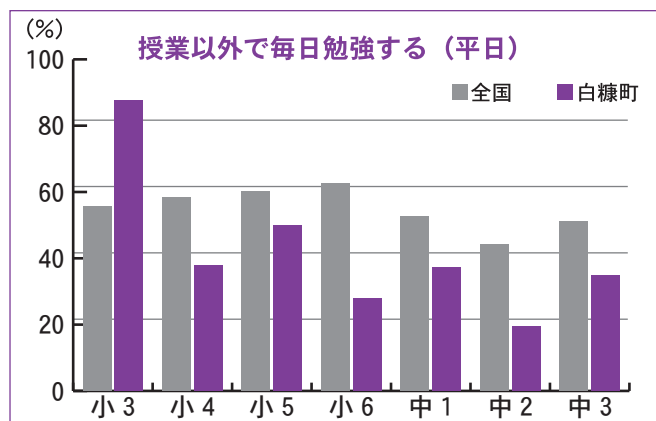


小学校1～4年および中学校2年で全教科の平均が目標値に達しました。また、目標値に達することはできなかったものの、昨年度よりも総合成績が上昇している学年が見られます。

小・中学校全体の傾向として、知識を活用して解く発展問題、特に根拠に基づいて説明する問題の正答率が低いという結果になりました。授業や家庭教育の中で、知識を使えるレベルまで高めることができるよう、自分の考えを書いてまとめる学習に繰り返し取り組んでいく必要があります。

小学1～2年は国語と算数の2教科、小学3～4年は社会と理科を加えた4教科、小学5年～中学3年まではこれらに英語を加えた5教科を実施しています。

2 総合質問紙調査(i-check)結果



小学校3年以外の学年で「1日当たりの家庭学習時間」が全国平均よりも短く「テレビを見たりゲームをしている時間」が長いという結果から、学習習慣・生活習慣に大きな課題が見られます。

放課後の時間の使い方について、じっくりと家庭内で話し合い規則的な生活を送ることができるように努めましょう。

学力や体力の向上には、基本的な生活習慣の確立が必要不可欠です。

3 今後の対応について

- 授業では、積極的に自分の考えや意見を発表しましょう。
- 家で宿題や課題に取り組むとき、じっくりと考えて自分の考えをまとめましょう。
- 1日の生活表を作成し、毎日決まった時間に運動や家庭学習に取り組みましょう。
- 家庭内で、学校のできごとなどを話し合う時間を持ちましょう。
- テレビや情報端末機器等を使用する時間を見直し、家庭でルールを決めて守りましょう。

問合せ／教育委員会管理課指導室 ☎ 2-2171 (内線266)